

2023年6月13日

最近の長野県経済の動向 (月例調査)

2023年3月、4月の経済データを基に、長野県内の景況を把握したものです。

概要

全国景気*	緩やかに回復している
長野県内景気	持ち直しの動きに弱さがみられる
3月の生産動向	生産は足踏みがみられる
4月の個人消費	乗用車新車販売は4カ月連続で前年を上回る
4月の公共投資	公共工事保証請負額は3カ月連続で前年を上回る
4月の住宅投資	新設住宅着工戸数は2カ月ぶりに前年を下回る
4月の雇用情勢	有効求人倍率は2カ月ぶりに前月を下回る
今後は、物価上昇による個人消費への影響を注視する必要がある	

※内閣府「月例経済報告(2023年5月)」より

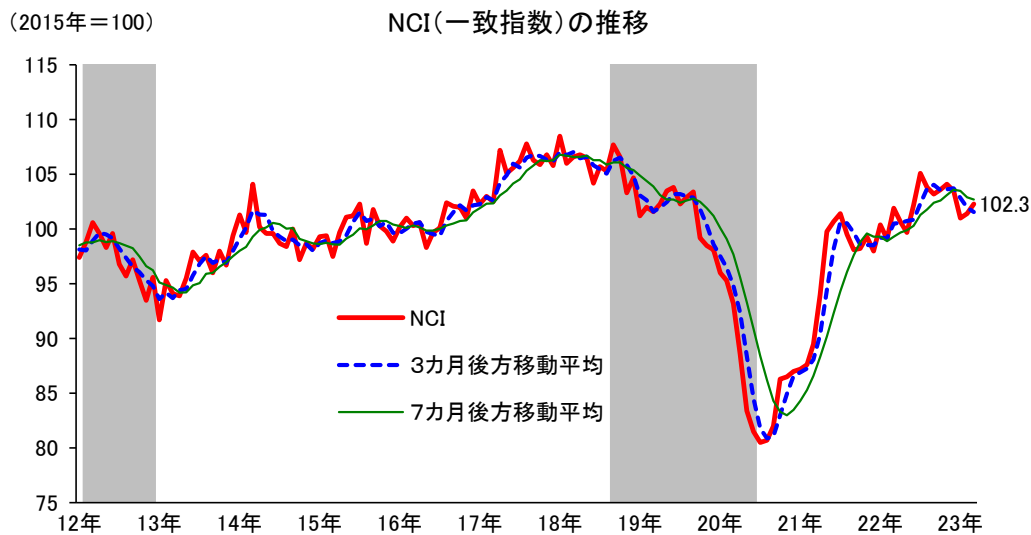
照会先

一般財団法人 長野経済研究所 調査部
担当 桑井、伊東
電話 026-224-0501

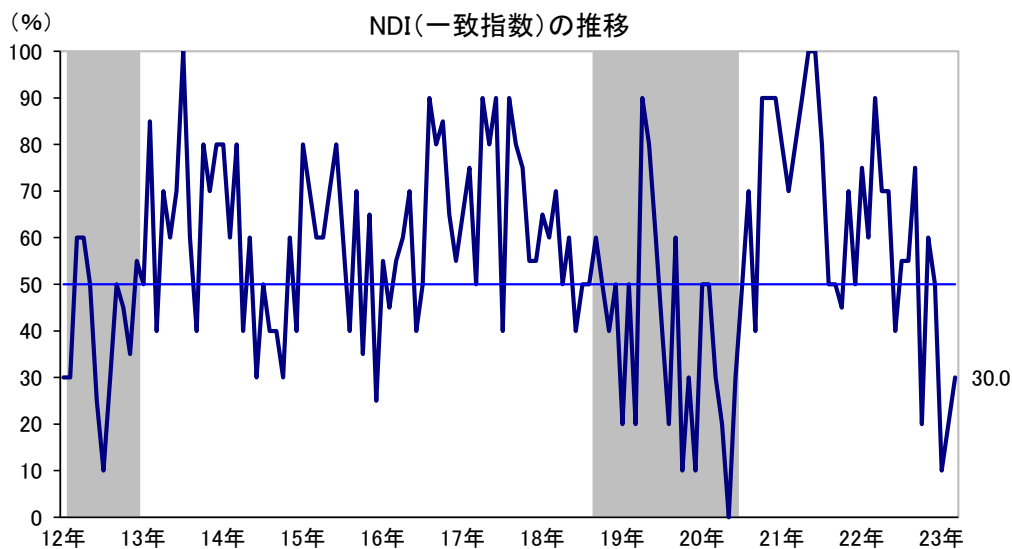


景気動向指数

- ・3月のNCI(一致指数)は、102.3と前月と比較し+0.9ポイントとなった。3カ月後方移動平均は同△0.4ポイントと3カ月連続で低下し、7カ月後方移動平均は同△0.2ポイントと3カ月連続で低下した。NCI(一致指数)は、改善を示している。
- ・NDI(一致指数)は、30.0%となり、景気判断の分かれ目である50.0%を3カ月連続で下回った。



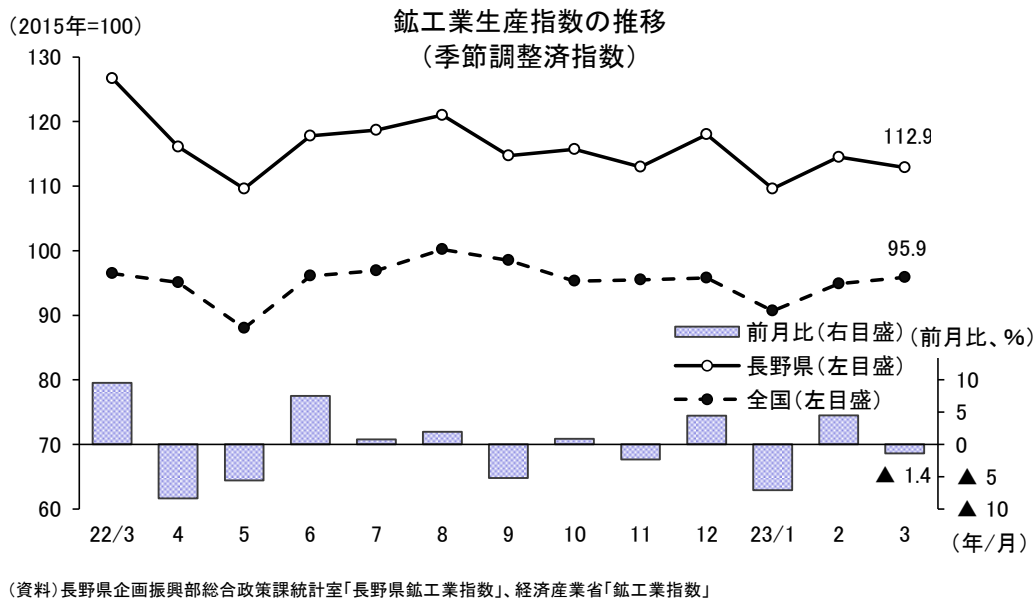
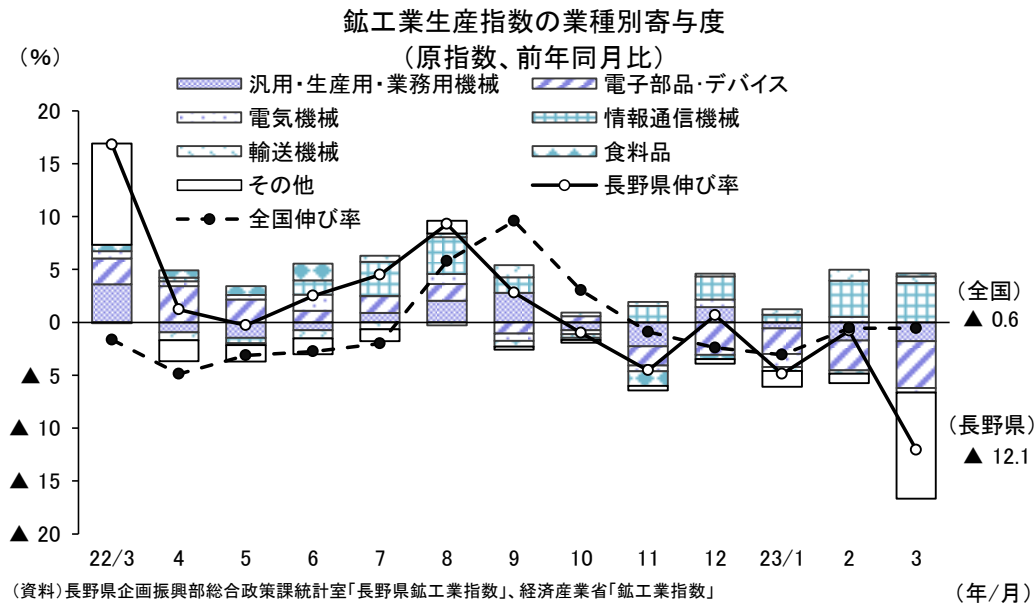
(資料)当研究所「長野県景気動向指数」
 注1.NCIは長野県の景気変動の大きさやテンポ(量感)を示す
 注2.シャド一部分は長野県の景気後退期を示す



(資料)当研究所「長野県景気動向指数」
 注1.NDIは長野県の景気の方角、波及度合いを示す
 注2.シャド一部分は長野県の景気後退期を示す

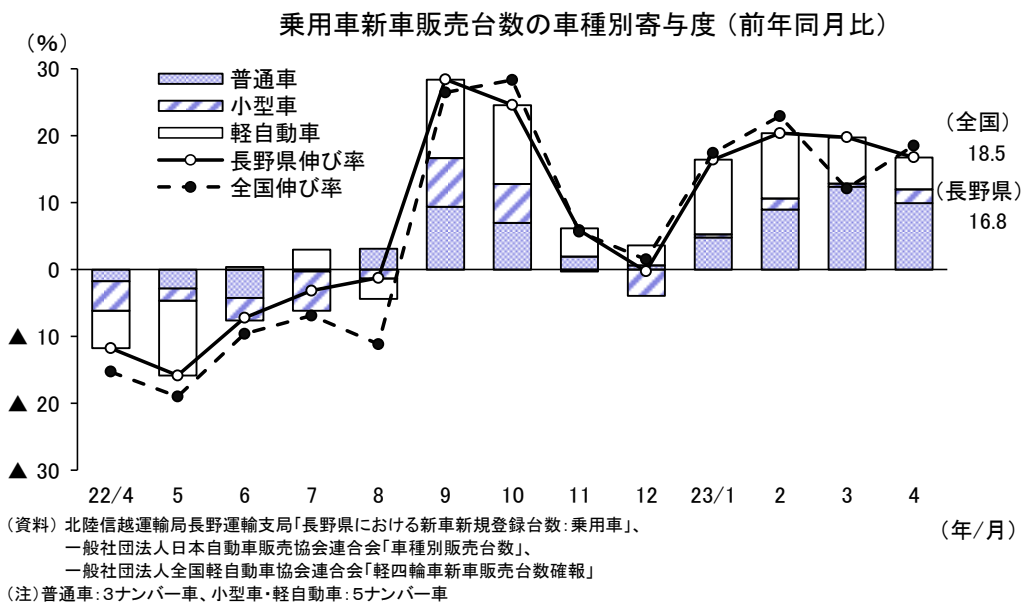
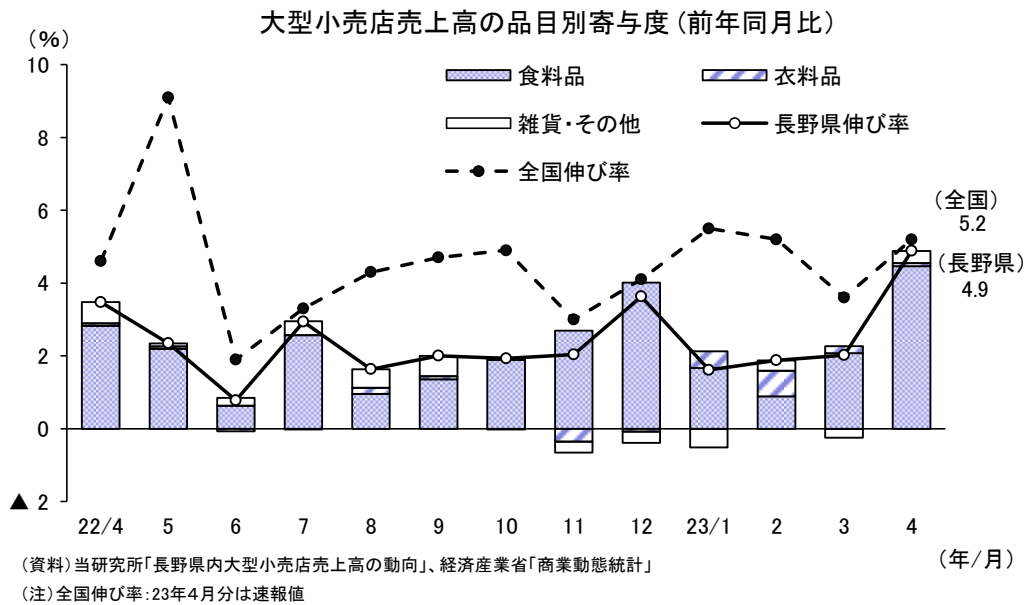
生産は足踏みがみられる

- ・3月の鉱工業生産指数は、原指数が前年同月比△12.1%、季節調整済指数が前月比△1.4%となった。
- ・原指数は3カ月連続で前年を下回り、季節調整済指数は2カ月ぶりに前月を下回った。内需は堅調に推移しているものの、外需の縮小がみられ、生産は足踏みがみられる。
- ・主要業種別にみると、「情報通信機械」、「輸送機械」、「食料品」などが前年を上回ったものの、「電子部品・デバイス」、「汎用・生産用・業務用機械」、「電気機械」などが前年を下回った。



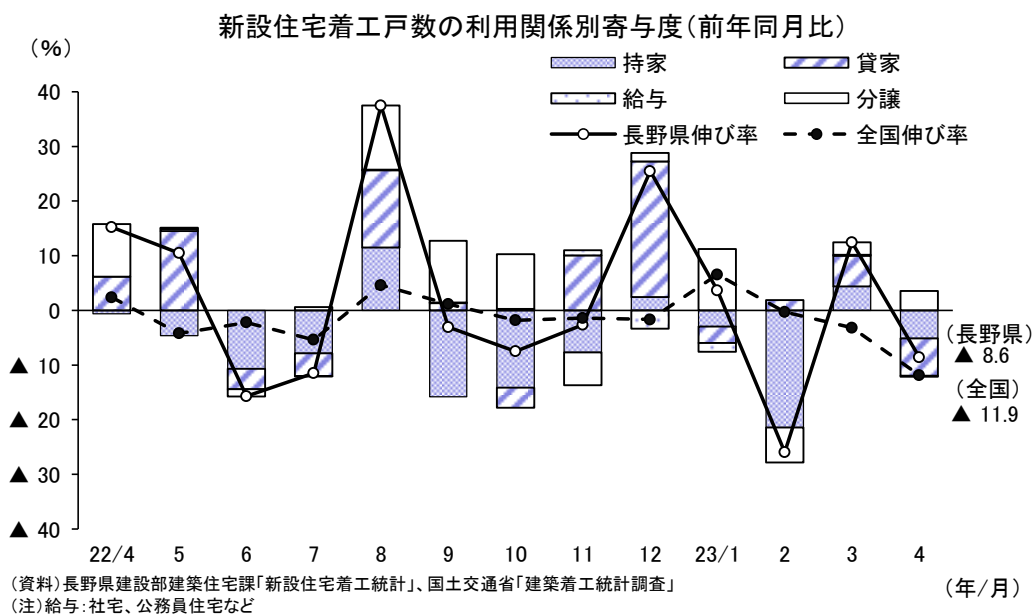
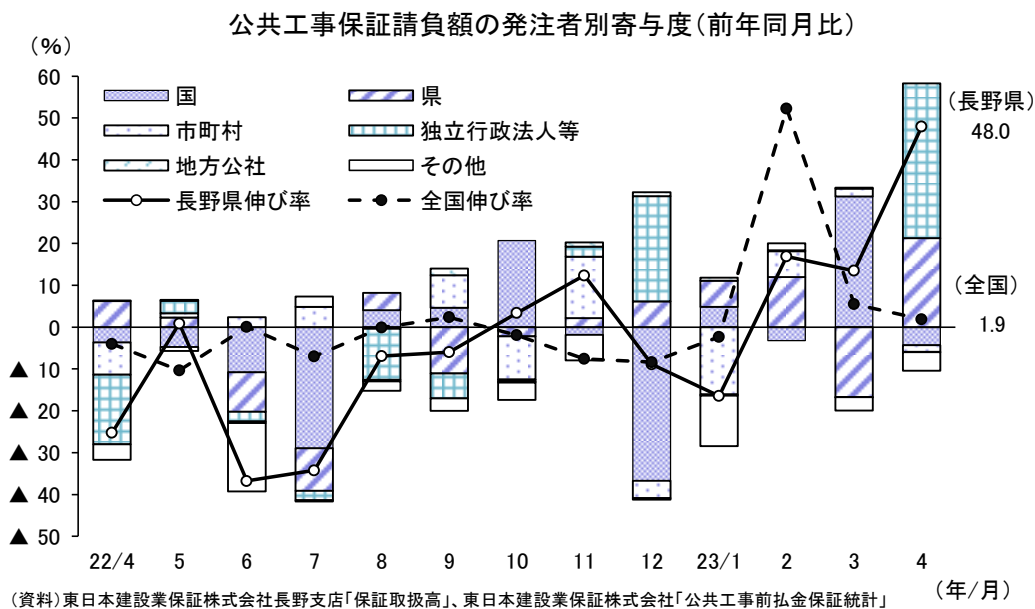
乗用車新車販売は4カ月連続で前年を上回る

- 4月の大型小売店売上高は、前年同月比+4.9%（売場面積調整前）となり、19カ月連続で前年を上回った。食料品は、来店客数が増加したほか販売価格の上昇などもあり、同+5.2%となった。衣料品は、外出機会の増加に伴い春物が堅調で、同+1.6%となった。雑貨・その他は、身の回り品や化粧品などの売り上げが増加し、同+3.6%となった。
- 4月の乗用車新車販売は、半導体不足等に伴う納車遅れが徐々に改善し、前年同月比+16.8%と4カ月連続で前年を上回った。車種別にみると、軽自動車は同+11.0%と8カ月連続で、普通車は同+31.4%と9カ月連続で、小型車は同+8.2%と4カ月連続で前年を上回った。



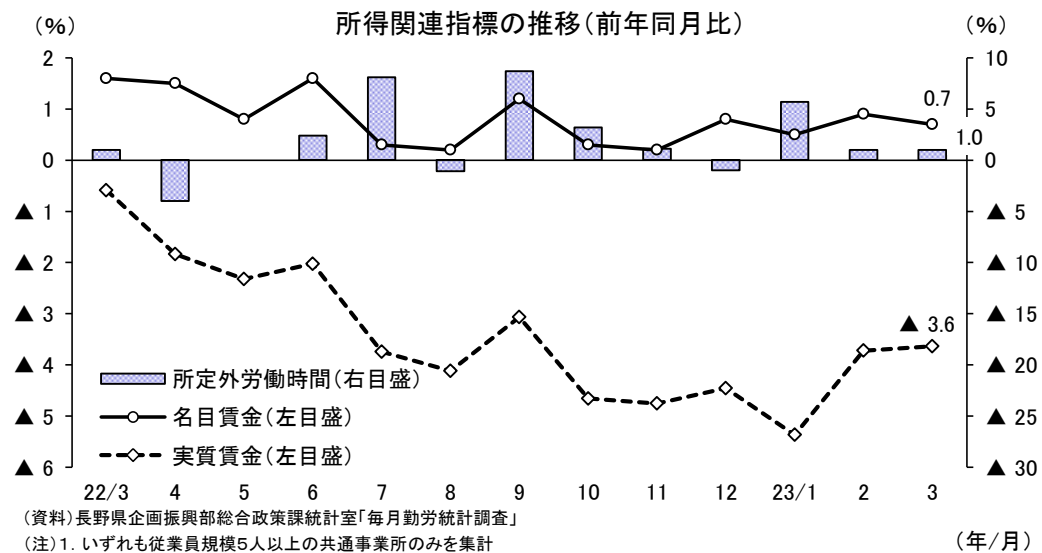
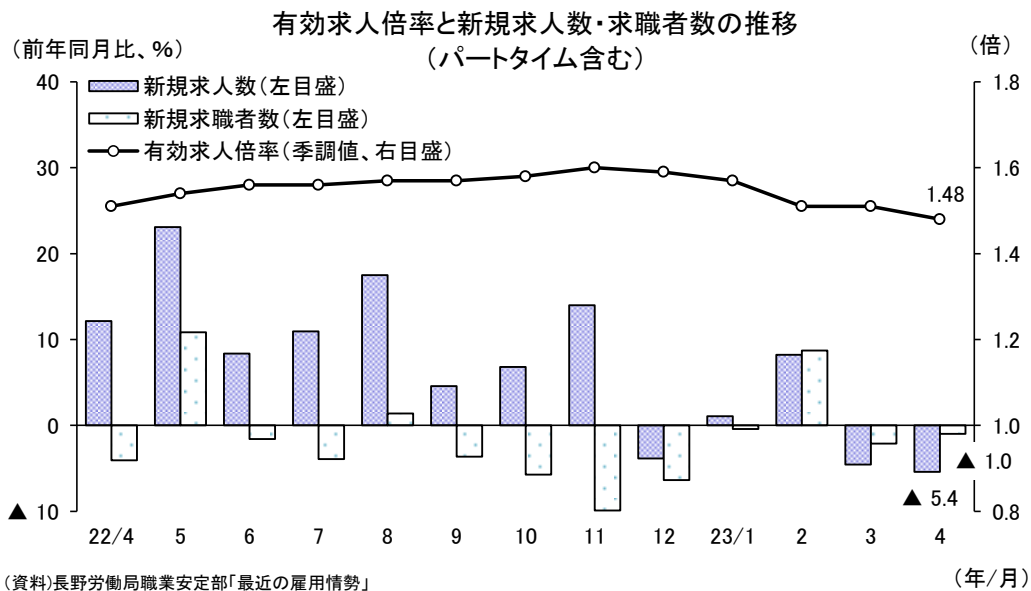
公共工事保証請負額は3カ月連続で前年を上回る

- 4月の公共工事保証請負額は、前年同月比+48.0%の387億5,600万円となり、3カ月連続で前年を上回った。発注者別にみると、国が同△60.1%、市町村が同△5.4%、地方公社が同△50.3%、その他が同△89.7%と減少したものの、県が同+45.1%、独立行政法人等が同+354.2%と増加した。
- 4月の新設住宅着工戸数は、前年同月比△8.6%の873戸と2カ月ぶりに前年を下回った。利用関係別にみると、分譲が同+16.9%と増加したものの、持家が同△8.8%、貸家が同△33.7%、給与が同△66.7%と減少した。



有効求人倍率は2カ月ぶりに前月を下回る

- ・4月の有効求人倍率は、前月比△0.03ポイントの1.48倍と2カ月ぶりに前月を下回った。
- ・新規求人数(全数)は前年同月比△5.4%となり、2カ月連続で前年を下回った。このうち常用は同△6.9%、パートは同△3.1%となった。主要産業別では、卸売業・小売業が同+7.3%、医療・福祉が同+4.0%と前年を上回ったものの、建設業が同△19.9%、製造業が同△17.2%、宿泊業・飲食サービス業が同△4.1%と前年を下回った。
- ・新規求職者数(全数)は、前年同月比△1.0%と2カ月連続で前年を下回った。
- ・3月の名目賃金は前年同月比+0.7%と23カ月連続で前年を上回ったが、実質賃金は同△3.6%と15カ月連続で前年を下回った。所定外労働時間は同+1.0%と、3カ月連続で前年を上回った。



県内地域別・近隣都県別有効求人倍率

有効求人倍率は31カ月連続で全国を上回る

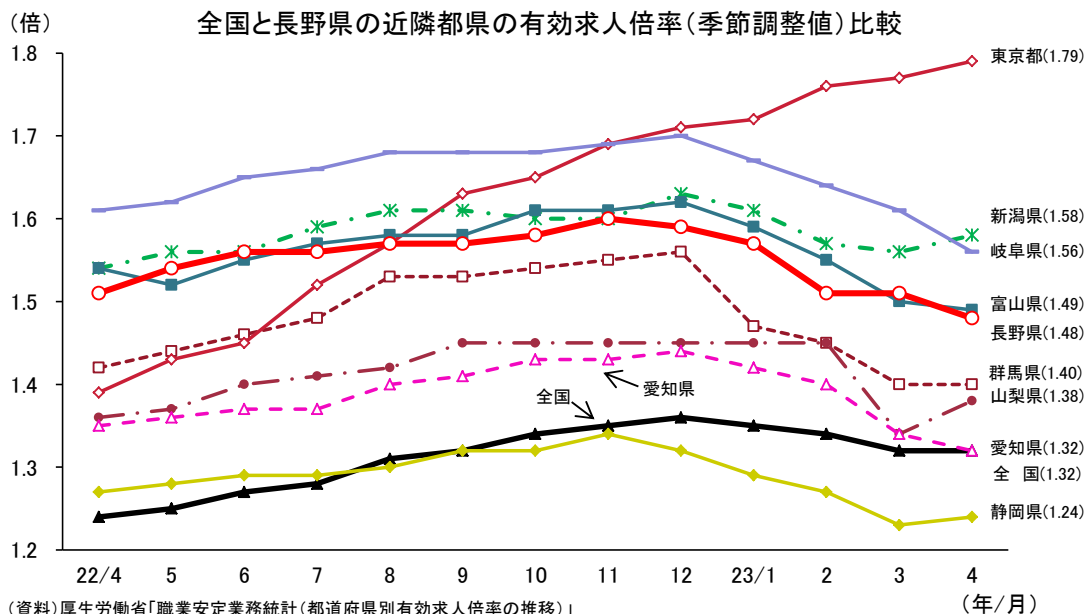
- ・4月の地域別有効求人倍率(全数)は、北信が前年同月比△0.06ポイントの1.30倍、東信が同△0.05ポイントの1.42倍、中信が同+0.10ポイントの1.48倍、南信が同△0.04ポイントの1.41倍となった。
- ・職業安定所別有効求人倍率(全数)は、飯田が1.51倍と最も高く、次いで松本が1.50倍となった。
- ・長野県の有効求人倍率は31カ月連続で全国を上回り、順位は前月より3つ下げ12位となった。

長野県職業安定所別有効求人倍率(実数値)(23年4月)

地域	北 信(1.30) (前年同月比▲0.06)				東 信(1.42) (前年同月比▲0.05)		中 信(1.48) (前年同月比0.10)			南 信(1.41) (前年同月比▲0.04)		
	長野	篠ノ井	飯山	須坂	上田	佐久	松本	木曾福島	大町	飯田	伊那	諏訪
全 数	1.33	1.17	1.47	1.26	1.37	1.47	1.50	1.46	1.28	1.51	1.30	1.41
前年同月比 (ポイント)	▲ 0.03	▲ 0.23	0.20	▲ 0.10	0.02	▲ 0.13	0.08	0.09	0.16	0.17	▲ 0.19	▲ 0.08
うち常用	1.21	1.13	1.43	1.16	1.27	1.40	1.27	1.35	1.21	1.44	1.15	1.35
前年同月比 (ポイント)	0.00	▲ 0.20	0.20	▲ 0.07	0.05	▲ 0.13	0.09	0.04	0.05	0.17	▲ 0.13	▲ 0.06

(資料)長野労働局職業安定部「最近の雇用情勢」

(注)実数値とは、新規学卒を除きパートタイムを含む季節調整前の原数値



(資料)厚生労働省「職業安定業務統計(都道府県別有効求人倍率の推移)」

(注)1. 新規学卒を除きパートタイムを含む

2. 長野県の近隣都県及び、経済規模、産業構造が類似している県